

【別紙】ファクトブックの一部
総ページ数：約70ページ（2024年1月現在）

神戸っ子が愛する
食・文化・スポットがリアルにわかる

KOBE BOOK



報道関係の方のお問い合わせ先

一般財団法人 神戸観光局 078-230-1120

2021年（令和3年）3月31日版

KOBE BOOK CONTENTS

ファッションやレトロモダンな街並み、海、山…と、見どころ満載の神戸。
パンやスイーツ、中華街、日本酒など、グルメも充実しています。
KOBE BOOKでは、神戸のあらゆる魅力的な情報を紹介します。

KOBE *Sweets*

スイーツ

他国のスイーツ文化が集い
神戸ならではのスイーツが誕生



KOBE *Nankin machi*

南京町

本物志向のリトルチャイナ
150年を超える歴史



KOBE *Bread*

パン

街中のあちこちで
焼き立てのパンの香りが香る



KOBE *Robbison*

六甲山

都会のすぐ後ろに広がる
癒やしの山・六甲山



KOBE *Breakfast*

朝食

“世界一”の朝食が食べられる
贅沢な神戸の朝



KOBE *Ritans*

北野地区

異国情緒あふれるレトロな街に
注目スポットが多数！



KOBE *Sweets*

ジャズ

日本ジャズの発祥地！
ジャズがあふれる街、神戸



KOBE *Animal*

動物

日本初登場の「スナネコ」など
ユニークな動物に会える神戸



KOBE *Nihonku*

日本酒

神戸は日本一の酒どころ！
秘密は「宮水」と「六甲おろし」



KOBE *Product*

プロダクト

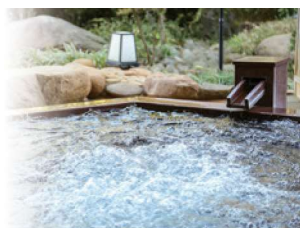
“シビックプライド”から生まれた
神戸のオンリーワングッズ



KOBE *Hot Spring*

温泉

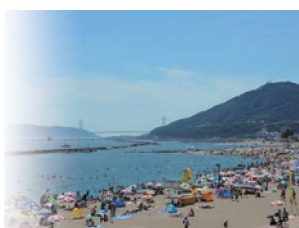
湧くはずのない所に湧く謎
“600万年前の湯”に浸かる



KOBE *Seaside Beach*

須磨海岸

関西初「ブルーフラッグ」を取得
阪神間唯一の自然海岸



都会のすぐ後ろに広がる、癒やしの山・六甲山
大自然の中で心も体もリフレッシュ！

KOBE

六甲山 *Rokkosan*



街・山・海が共存し、夜景の美しさも有名な神戸。街の背後には最高峰が1000m近い六甲山系が広がり、市街地と自然の距離が近いのも特徴です。市街地の至る所から登山道があり、多彩なハイキングコースを楽しめるほか、ケーブルカーやロープウェーも充実。山上のレジャー施設、レストラン、ショップへのアクセスも抜群です。



神戸に住む多くの外国人が開発し、 一大リゾート地へと発展！

荒れ果てた山の再生

江戸時代の六甲山は、人々が生活のために木や石を切り出したためにはげ山の状態で、土砂は崩れ、川は氾濫を繰り返していました。1902年(明治35年)から植林が始められ、1915年(大正4年)までに約334万本の樹木が植栽、その後も森林整備の取り組みは続き、六甲山は緑豊かな山として生まれ変わりました。

外国人の手により、本格的なリゾート地へ

1895年(明治28年)に英国人貿易商A.H. グルームが六甲山に別荘を建てた後、神戸に住む多くの外国人が追随し、山上でスキー・ゴルフ・スケート・ハイキングなどを楽しむようになりました。

またグルームは私費を投じて植林や登山道の整備を行い、兵庫県知事などに六甲山地の砂防や植林の必要を説いていたといわれています。グルームは「六甲山開祖」と慕われ、今も毎年6月に開催される夏山開きは「六甲山グルーム祭」と呼ばれています。



開港当時の神戸 外人居留地

開港当時の神戸 イラストレイテッド・ロンドンニュース



ゴルフをする人々 1904年(明治37年) ©神戸市文書館



多様で恵み豊かな六甲山系 SDGsを目指す取り組みも

六甲山系とは

神戸の市街地の背後に、東西に長く連なる六甲山系。最高峰は931mで、山頂付近の年間平均気温は青森や北海道南部に近いといわれています。近畿地方のほぼ中央に位置し、多様な動植物が育つ地質や地形を持っています。急峻な山の表層(花崗岩)を流れ落ちる水は、有機物が少なく、世界の海を旅する船乗りたちからは「赤道を超えても腐らない水」といわれてきました。また山から吹きおろす風は「六甲おろし」といわれ、酒造りには欠かせないものとなっています。



SDGsをめざす自然共生の取り組み

昭和30年代から昭和40年代にかけて、レジャー施設などの開発が進んだ六甲山でしたが、1971年(昭和46年)に環境庁が設立され、全国的に環境保全・自然保護の動きが高まってきたことから開発は落ち着きます。

市民の間にも自然保護の気運が高まり、植樹や山の手入れなど、緑豊かな六甲山の自然を守る取り組みが盛んとなり、今に続いています。

間伐や下草狩り、間伐材を利用した家具作りやバイオガスの精製、CO2の吸収が高い若い木が新たに植えられるなど、持続可能で豊かな森づくり、人々の健康づくり、CO2の削減など、SDGsを実現するさまざまな取り組みが行われています。



多様なレジャー施設

合計164種類のアスレチックが楽しめる
日本最大級のアスレチック施設

六甲山アスレチックパーク
GREENIA

2021年4月に日本最大級のアスレチック施設としてオープン。「山、空、水辺。すべてが舞台の冒険王国。」をテーマとし、合計164ポイントのアスレチックが楽しめる！六甲の大自然に囲まれた当施設は、その広さなんと約23万m²で、甲子園球場約6個分に相当します。また、一部のエリアは、人気動画クリエイター「フィッシャーズ (Fischer's)」が監修。山の地形や水辺をフルに使った、遊び心満載のアスレチックです。

山上まではケーブルカーなどの公共交通機関が利用できます。車で神戸から約35分、大阪市内から約60分と、都市近郊からのアクセスも良好です。

参考サイト 六甲山アスレチックパーク GREENIA <https://www.rokkosan.com/greenia/>



六甲山のロケーションを存分に生かした
GREENIAならではのオススメスポット！

景色を堪能！

芝生広場の上空を飛ぶ「ジップスライド」



数あるGREENIAのアスレチックエリアでも人気の「ジップスライド」は、行きは256m、帰りは201mを滑り降りる往復のコース。GREENIA場内を見渡せる景色はまさに絶景です。
(※当日先着順受付)

SNS映え抜群！壁面アスレチック

「ゲームの中に飛び込んで」



フィッシャーズが監修したバラエティアスレチック「ヤッホイ」にある、「ゲームの中に飛び込んで」は、ドラゴンや謎の飛行物体、不思議な生き物たちが描かれた壁面アスレチック。ゲームの世界に飛び込んで、登ったり、ジャンプしたりと親子で楽しく遊べます。

渡り切れるか?! 水に落ちるスリルと戦う

「ワンダーアメンボー」



スリル満点の水上アスレチック「ワンダーアメンボー」には、場内の池を利用した30ポイントのアスレチックがあります。忍者のように足場を渡り、向こう岸を目指す難易度“激ムズ”のものも！

自分を馬だと思っている牛がいる!?

神戸市立六甲山牧場

牧歌的な景色の中で、羊や牛などの家畜とふれあい、癒やしのひとときを過ごせる「六甲山牧場」。自分を馬だと思っている牛「ランボルギーニ」や、ミニチュアホースの「サニー」など、ユニークな動物がたくさん！

「六甲山Q・B・Bチーズ館」や「まきば夢工房」などの施設では、チーズやバター、アイスクリーム作りや、羊毛クラフト体験なども楽しめます。

動物たちのおもしろ動画配信中

<https://www.youtube.com/user/rokkosanpasture>



幼い頃から馬のように育てられた「ランボルギーニ」



ミニチュアホースの「サニー」。ミニチュアホースは、ポニーよりも小さい、体高が80cm未満の小型の馬です

参考サイト 神戸市立六甲山牧場 <https://www.rokkosan.net/>

多様なレジャー施設

四季折々、色と香りに包まれる 神戸布引ハーブ園／ロープウェイ

新神戸駅から徒歩約5分の神戸布引ロープウェイで約10分。標高約400mの山頂駅に降り立つと、約200種75,000株の花やハーブが四季折々に咲き集う日本最大級のハーブ園があります。

ハンモックでくつろいだり、カフェで神戸の美しい街並みを見ながらハーブティーを楽しんだり、優雅なひとときを過ごすことができます。

参考サイト 神戸布引ハーブ園／ロープウェイ <https://www.kobeherb.com/>

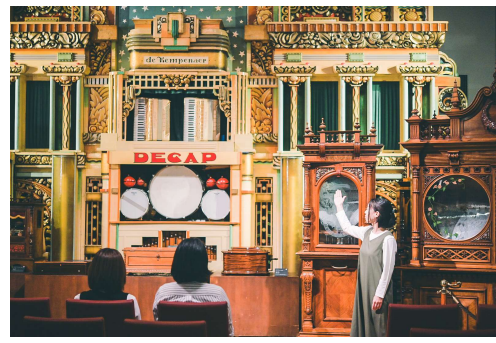


「音」×「自然」をコンセプトとした
癒しの場

ROKKO森の音ミュージアム

自然の中で様々な「音」を楽しむ体験型ミュージアム。ドイツ風の洋館「森の音ホール」では19世紀後半から20世紀初頭にかけてヨーロッパやアメリカで親しまれていたオルゴールなど自動演奏楽器を展示し、「演奏家のいないコンサート」で毎日演奏。併設のナチュラルガーデン「SIKIガーデン～音の散策路～」では、四季折々の風景と花の中に手回しオルゴールなどの触れて楽しめる音の展示が点在。自然に囲まれた空間で散歩やカフェタイムなどゆっくりした時間が過ごせます。

参考サイト ROKKO森の音ミュージアム：<https://www.rokkosan.com/museum/>



幻のあじさいを見に行こう！ 神戸市立森林植物園

六甲山の自然を生かした植物園で森と親しみ、世界の樹木などが楽しめます。新緑・ツツジ・シャクナゲ・アジサイ・モミジ散策などが見どころ。自然を最大限に活用し、単なる見本園ではなく、生きた植物本来の姿を樹林として見られる、総面積142.6haの広大な植物園です。

園内では、約1,200種（うち約500種は外国産）の本木（もくほん）植物を中心に、北アメリカ産樹林区、ヨーロッパ産樹林区、アジア産樹林区、日本産樹林区（北日本区・照葉樹林区・日本針葉樹林区）といった原産地別に、自然生態を生かした樹林を植栽展示しています。

また「あじさい園」は、六甲山の幻の花といわれたシチダンカをはじめ、25種350品種、約5万株を収集して植栽し、国内有数のアジサイの名所として知られています。「つつじ・しゃくなげ園」では、ツクシシャクナゲ、ホソバシャクナゲなど、37種約4千株のシャクナゲやツツジを、さらに秋には、ハナノキ、イロハモミジ、ハゼノキ、メタセコイアなど、38種約3千本もの色とりどりの紅葉を楽しめます。

参考サイト 神戸市立森林植物園 <http://www.kobe-park.or.jp/shinrin/>



六甲山の宿泊施設**文人たちが通い、思索した天空のリゾート
六甲山サイレンスリゾート**

2019年(令和元年)7月に、旧「六甲山ホテル」を修復して生まれ変わった「六甲山サイレンスリゾート」。

六甲山に1929年(昭和4年)、宝塚ホテルの分館として六甲山ホテルが誕生し、2007年(平成19年)には国の近代化産業遺産に認定されました。この歴史を引き継ぎ、旧六甲山ホテルは、建築界の巨匠ミケーレ・デ・ルッキの手によって、約2年間をかけた修復工事を終了し、「六甲山サイレンスリゾート」として開業当時の美しさを蘇らせました。この「修復」は、イタリアの知恵と修復技術が日本独自の工芸技術と融合し、後世へ文化遺産を継承するための大がかりな事業です。

ミケーレ・デ・ルッキが自ら設計しディレクションする「六甲山サイレンスリゾート」は、六甲をはじめとして日本企業のオピニオン・リーダーとなるべく、環境と自然への敬意と配慮に真摯に取り組んでいます。リゾートの敷地面積は東京ドーム約6個分。今後は2年以内に宿泊棟、そして多目的ホールや教会を含む複合リゾートは2025年完成を目指しています。

大人が静かな時間を過ごすだけの場所ではなく、ハイキング途中のカジュアルな格好や、ベット連れでの入館もOK。キッズルームも備わっています。

参考サイト 六甲山サイレンスリゾート <https://rokkosansilence-resort.com>

**愛犬と泊まれるリゾートホテル
ホテル神戸六甲迎賓館**

六甲の自然と港町・神戸をイメージした赤レンガと欧風モダンな外観が特徴の新築リゾートホテル「ホテル神戸六甲迎賓館」が、2020年(令和2年)3月オープンしました。

地上3階地下1階の約2,300坪で、山の斜面をいかした構造となっており、1階に玄関、地下1階には摩耶山付近から湧き出る、二軒茶屋温泉のゆったりとくつろげる大浴場を備えています。客室は全23室、全室洋室で目的や用途に合わせ、5タイプから選べます。シングルルームを完備し、リゾートワークも可能な広めのお部屋もあります。また、愛犬と一緒に泊まれる部屋もあり、ケージや食器、トイレシートなどの犬用アメニティもそろっています。

食事は、神戸の近郊で採れる「旬」で「良質」な食材を使用。和と洋のエッセンスを融合した調理法で仕上げ、型にはまらない本格的創作フレンチ料理が楽しめます。愛犬には犬の体に優しい素材を使ったシェフ手作りのご飯をビュッフェ形式で食べさせることができます。

併設しているカフェ&ショップ「フォレストデリ」では、新鮮な魚介類や国産牛のBBQ、ローストビーフ等の軽食、入れたてのコーヒーが提供されます。ショップには神戸のお土産・珍しい輸入のお菓子などがそろっています。宿泊客はもちろん、ハイキングやドライブ途中でも気軽に利用できます。

参考サイト ネイチャーライブ六甲：<https://www.koberokko-geihinkan.jp>



「おこもりワーク」に最適！
泊まれる森のシェアオフィス

ROKKONOMAD (ロコノマド)

ロコノマドは以前、企業の保養所として使われていた建物をリノベーションした、シェアオフィスです。仕事スペース、ラウンジのほか、創造のためのワークスペース、会議室、BBQができるウッドデッキ、ベッドルームやコテージを備え、宿泊することもできます。

ワーケーションでのご利用以外にも、周辺のワークスペースやホテル、カフェ、市街地のコワーキングスペースと連携し、進出企業や地元のクリエイター・周辺住民などと、年間を通じてワークショップなど、様々な行事を開催し、訪れる人々のコミュニティを大切にしながら、六甲山に新しい賑わいをもたらします。

参考サイト ROKKONOMAD(ロコノマド) : <https://rokkonomad.org/>



イベントやビジネス、宿泊で活用！

リネスト A HOLIDAY HOME

ログハウスをイベントスペースに改修し、2020年(令和2年)秋にオープンしました。コワーキングスペースとしても利用でき、自然の中で仕事を、という新たなスタイルの働き方を提案しています。山上でありながら、周辺に郵便局や小学校があり、神戸の市街地まで車で約15分と好立地なのも魅力。

また敷地内にはロッジが4棟あり、宿泊も可能です。

参考サイト リネスト <https://www.ren-est.com/>



日本三大夜景!1000万ドルの夜景を展望台で

六甲山でアートに触れる
自然体感展望台 六甲枝垂れ

六甲山の上に立つ一本の大きな樹のような「自然体感展望台 六甲枝垂れ」。総檜葺きの展望台では、フレームや壁、床が、奈良県・吉野の森で厳選されたヒノキを使って作られています。内部に入ると、「枝葉」というフレーム越しに降り注ぐ太陽の光を感じられる展望台です。四季折々、色を変えてライトアップされます。

参考サイト 自然体感展望台 六甲枝垂れ
<https://www.rokkosan.com/gt/shidare/>



神戸の夜景を一望できる
天覧台

六甲ケーブル六甲山上駅を降りてすぐにある「天覧台」。神戸はもちろん、大阪平野部から和歌山方面までワイドに広がる景色が一望でき、夜には1000万ドルの夜景が輝きます。六甲山は日本でも有数の夜景スポットのひとつであり、日本夜景遺産にも選定されています。

参考サイト 天覧台
<https://www.rokkosan.com/tenrandai/>

日本三大夜景のダイナミックな輝き
掬星台



北海道・函館山、長崎県・稲佐山と共に、日本三大夜景と言われる摩耶山掬星台(まやさん きくせいだい)の夜景。
摩耶ケーブルと摩耶ロープウェーを乗り継ぐと、一気に夜空をかけたあがるロープウェーの眼下に、1000万ドルの夜景が広がります。
「摩耶山の夜景」はCOOL JAPAN AWARD2019を受賞し、世界各国の外国人からも支持される人気の高いスポットです。

参考サイト 掬星台 <https://www.feel-kobe.jp/kobe-yakei/area/mountain/03/>

気軽に楽しめる港と街の大パノラマ
ビーナスブリッジ



螺旋状のビーナスブリッジは、神戸の街と港を近くに望める人気のデートスポット。オフィスビルや高層マンションに灯る明かり、メリケンパークや神戸ハーバーランドなどの明かりが眼前に迫ってくる、大パノラマを楽しめます。

参考サイト ビーナスブリッジ
<https://www.feel-kobe.jp/kobe-yakei/area/mountain/01/>

六甲山グルメスポット

海と緑を望むラグジュアリーな空間 ザ・ヴェランダ神戸

「ザ・ヴェランダ神戸」(The Veranda at Kobe)は、標高約400m、神戸布引ハーブ園のグラスエリア内にあり、オリジナルブレンドハーブティーやスイーツ・軽食などを、眺望の良いカフェラウンジや開放感溢れるテラスで楽しめます。古き良き神戸の洋館のイメージとモダンなカフェを融合したクラシックでラグジュアリーな空間です。

参考サイト ザ・ヴェランダ神戸 <https://www.kobeherb.com/tips/veranda/>

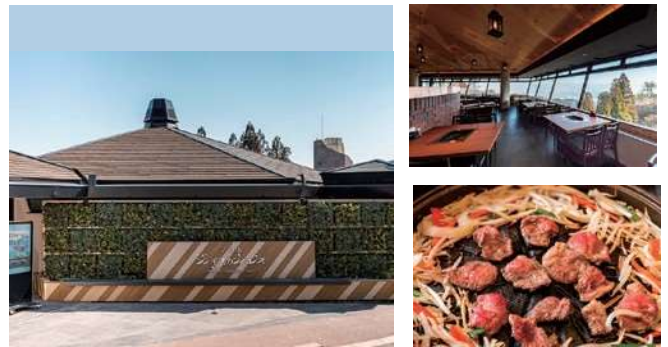


2020年(令和2年)リニューアルオープン！ 六甲山ジンギスカンパレス

六甲山ジンギスカンパレスは、六甲山名物のジンギスカンが食べられる店。1976年(昭和42年)7月に創業し、その後約45年間にわたり、阪神間の住民や県内外の観光客などに支持される人気店です。夜には1000万ドルの夜景を眼下に食事を楽しめます。また、近年ではヘルシーなラム料理が、ハイカーや若い女性、またアジア圏を中心とした海外客にも好評です。

店内内装のリニューアルに加え、新たに無煙ロースターを導入し、上質な空間の店内で、より快適にジンギスカン料理を楽しむようになりました。メニューも一新し、流通過程で一度も冷凍されていない「生ラム」など新たにこだわりの食材が登場しました。

参考サイト 六甲山ジンギスカンパレス <https://www.rokkosan.com/gt/eat/barbecue/>



大パノラマビューでくつろぎのひととき グラニットカフェ



神戸の街並みと自然を一望できるテラス席、モダンな雰囲気の内装が特徴のリラックスカフェ。旬の食材を使ったシェフ特製のおしゃれな創作料理や手作りスイーツが自慢で、地元の住民や観光客に人気の店です。夜には1000万ドルの夜景を見ながら食事ができるのでカップルにおすすめです。

参考サイト グラニットカフェ <https://www.rokkosan.com/gt/eat/granitecafe/>

山並みまで見渡せる大パノラマ！ CAFE702



軽食・喫茶の定番メニューを幅広くそろえ、屋外テラスでBBQをするなどさまざまなシーンで利用できます。晴れた日には、カウンター越しに、遥か遠くの紀州の山並みまで見渡せる大パノラマが広がります。私設の図書コーナーも充実しており、霧や雨の日でものんびり過ごせます。

参考サイト カフェ702 <https://www.mayasan.jp/mayaviewterrace/cafe702.html>

六甲の絶景とおいしいカフェランチ TENRAN CAFE



「天覧台」にある山の上のくつろぎカフェ。眼下に広がる阪神間の街並みを眺めながら、神戸ウォーターのドリップコーヒーや地元の食材を使った、こだわりのメニューを味わえます。

参考サイト テンランカフェ https://www.rokkosan.com/tenrandai/tenran_cafe/

大自然に包まれた癒やしカフェ ロッコウサン 653カフェ



六甲ケーブル山上駅から徒歩1分の好立地にあるカフェ。森の中の広大な敷地に、テーブルやイス、ハンモックやブランコが並んでいます。思い思いの場所で大自然を感じながら、ゆったりと過ごすことができます。

参考サイト 653カフェ <https://653.cafe>

お土産グッズ

六甲山生まれのハチミツなど
限定商品が盛りだくさん！

六甲山に咲く花々からミツバチたちが集めたハチミツ「やまみつ」の商品が話題となっています。ハチミツはもちろん、「やまみつ」を使った「やまみつパイ」は、お土産として人気です。また、2021年(令和3年)から「やまみつドロップス」も新登場。

他にも、六甲山の地下50mから湧き出した天然水で醸造した地ビールや、六甲ケーブルのオリジナルストラップなど、六甲山ならではのお土産グッズが豊富にそろっています。

参考サイト

やまみつ <https://www.rokkosan.com/yamamitsu>
六甲ガーデンテラスのショップ情報
<https://www.rokkosan.com/top/goods/palaceshop/>



サクサク食感の「六甲山ミツバチ やまみつパイ」



自然の風味を生かした優しい味わいの「六甲山ミツバチ やまみつドロップス」



3種の味わいが楽しめる「六甲山ビール」



六甲ケーブルカーをモチーフにした「六甲ケーブルオリジナルストラップ」

ハイキング

六甲山は、自然にふれあいながらゆっくり山歩きを楽しむコース、摩耶山や有馬温泉を訪ねるコース、山麓から最高峰を目指して登っていくコースなど、整備されたハイキング道が複数あり、距離や高低差に応じて誰でも気軽に山歩きを楽しめます。

トレッキングアプリ「YAMAP」で
ハイキングを楽しもう！

日本最大の登山地図アプリ「YAMAP」。六甲山ページから事前に地図をダウンロードすることで、携帯電話の電波が届かない山の中でも、無料でサービスが利用できます。

- 1 トレッキング中の現在位置を確認。
- 2 おすすめトレッキングコースを知る。
- 3 六甲山とその周辺の多彩な観光スポット約90か所の情報を知る。

参考サイト YAMAP <https://yamap.com/>



神戸で体力の限界に挑戦「六甲全山縦走」！

神戸の背後に連なる六甲山。西は須磨から東は宝塚まで、六甲山系の尾根伝いにのびるハイキングコースを、1日のうちに自分の力で歩き通すのが六甲全山縦走(全縦)です。コースの距離は公称56km、最も高い山は六甲山で、山頂の高さは931.3メートル。

毎年11月に開催される「KOBE六甲全山縦走大会」では体力と精神力を鍛え、目的を達成する喜び、そして神戸のまちと自然、人とのふれあいを楽しめます。



榎尾山より明石海峡大橋を望む



須磨アルプスを縦走する参加者



六甲山周辺の
アクセス

六甲山周辺には、ロープウェーやケーブルカーなどさまざまな交通機関があります。
神戸市中心部の三宮や、有馬温泉からのアクセスも便利です。



六甲山で最も深い谷を渡り、西側遠方には瀬戸内海も見られます

六甲山の自然を感じる空中散歩！
大きく広がるガラス面からの眺めはスリリング

六甲山頂と有馬温泉を約12分間で結ぶ六甲有馬ロープウェーは、六甲山系で最も深い谷を渡り、天気良ければ西側遠方に瀬戸内海を見ることがもできます。空中散歩を楽しみながら、初夏の新緑や秋の紅葉など、四季ごとに表情を変える六甲山の雄大な自然を堪能できます。

また、開業50周年を記念して、2020年(令和2年)3月に3代目となる新ゴンドラがデビューしました。新ゴンドラは、谷側の一段低いステップに設置した展望シートと足元まで広がる大きな窓を採用しており、六甲山の自然をよりダイナミックに、よりスリリングに感じられます。六甲山頂には六甲ガーデンテラスや六甲山フィールドアスレチックをはじめ、観光スポットが多数点在しており、日本三大名泉のひとつでもある有馬温泉では、宿泊はもちろん、気軽に日帰り入浴なども楽しめます。

参考サイト 六甲有馬ロープウェー <https://koberope.jp/rokko>



有馬のまちが見渡せます。秋には紅葉が圧巻！



日本発導入の展望シート！急斜面を下るスリルが味わえます



有馬温泉駅ではロープウェーを動かす巨大な滑車が見られます

「まやビューライン」



「まやビューライン」と「六甲ケーブル」、お得な急行バス

摩耶山の山上と山麓を結ぶ「まやビューライン」は、摩耶ケーブルと摩耶ロープウェーを乗り継いでわずか約15～25分です。市街地と隣接しながらも、深い森におおわれた摩耶山の自然を身近に体感。ケーブルカーは、28度40分(全国で6番目)の急傾斜を上るスキージャンプ台のような迫力で、ロープウェーは、神戸の街並みを眺めながら、空中散歩を楽しめます。

摩耶ロープウェー星の駅からすぐの掬星台から見る、大阪～紀伊半島の大パノラマは圧巻です。夜は、「日本三大夜景」にも認定されている、宝石箱をひっくり返したような幻想的な風景が一望できます。

また、星の駅2階のmonte702で電動アシスト付き自転車「マヤチャリ」をレンタルすれば、「摩耶山天上寺」や「六甲山牧場」などの山上観光施設へのアクセスに便利で、自然の風を感じて心も体もリフレッシュできます。

参考サイト 六甲ケーブル <http://www.rokkosan.com/cable/>

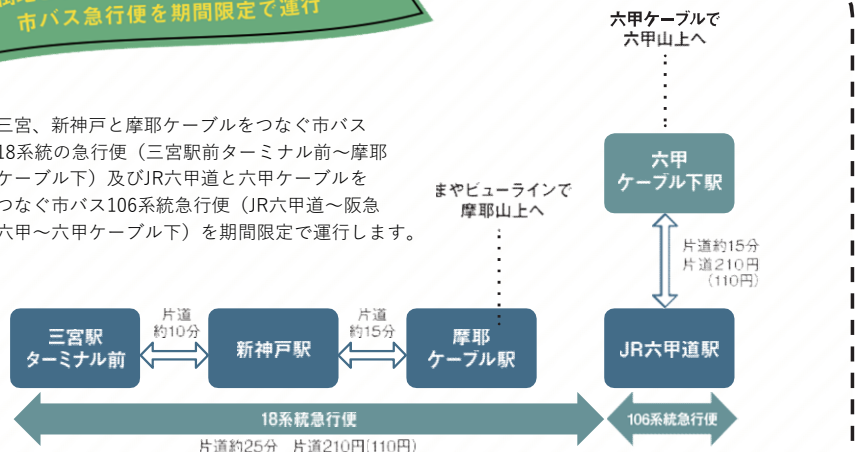
「六甲ケーブル」



六甲ケーブル下駅から六甲山上駅までの約1.7km、高低差493.3mを約10分間で結び、六甲山の風と四季折々の景色を楽しむことができます。車両は、「クラシックタイプ」と「レトロタイプ」の2編成。世界でも珍しい山上側の箱形車と山下側の展望車の2両連結で運転しています。オール・デコ調の六甲山上駅舎は、近代化産業遺産に認定されています。

市街地と摩耶ケーブル・六甲ケーブルをつなぐ市バス急行便を期間限定で運行

三宮、新神戸と摩耶ケーブルをつなぐ市バス18系統の急行便(三宮駅前ターミナル前～摩耶ケーブル下)及びJR六甲道と六甲ケーブルをつなぐ市バス106系統急行便(JR六甲道～阪急六甲～六甲ケーブル下)を期間限定で運行します。



※()内は小児料金です。

多彩な
観光スポット

六甲山周辺には、美しい景色や大自然を満喫できる、多彩な観光スポットがあります。

二つ星★★

摩耶山掬星台展望台 /

旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」

旅行者が訪れる価値のある場所を評価した旅行ガイド「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」。「ミシュラン・グリーンガイド・コレクション」は、客観的で明瞭な情報を提供し、旅行者をサポートすることを目的に、フランスのタイヤメーカー、ミシュランが刊行しているもので、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」(英語・フランス語で発行)では、日本国内の観光地、観光施設情報を外国人観光客向けに発信しています。

掲載地は「旅行者へのおすすめ度」を星の数で評価。六甲山(六甲山天覧台・自然体感展望台 六甲枝垂れ・六甲高山植物園)や摩耶山(摩耶山掬星台展望台・摩耶山天上寺)なども高い評価を受けています。



二つ星★★

竹中大工道具館 /



日本で唯一の大工道具の博物館。大工道具の展示だけでなく、伝統の職人技を散りばめた、一見モダンに見える建物も見どころのひとつです。

新神戸駅から約15分！布引の滝で大自然を満喫！



神戸の市街地を一望できる /



「布引の滝」は、新神戸駅から歩いて約15分。雄滝(おんたき)・雌滝(めんたき)・夫婦滝(めおとだき)・鼓ヶ滝(つづみがだき)の4つの滝の総称で、「日本三大神滝」で「日本の滝百選」にも選ばれています。

中でも雄滝は高さ43mの名瀑(めいばく)です。ハイキング道の途中にある茶屋からは雄滝を一望できます。新緑や紅葉の頃の散策は格別です。

ちょっと一息、おんたき茶屋 /

